

2024年01月吉日

お得意先 各位

大阪市東住吉区山坂1-5-16
新晃電機株式会社
新晃トレーディング株式会社

エレカット リニューアルのお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

このたび、エレカットに新機能を追加いたしました。つきましては、2024（令和6）年1月5日（金）出荷分より新モデルのエレカットを販売開始いたします。

なにとぞ、拡販にご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

エレカットは、内部に搭載している複数の電子部品が入手困難になったため、設計を見直すとともに、新たな機能を追加いたしました。変更点につきましては、添付資料「エレカット 型式 SO/SOH 比較表」を例にご参照ください。

リニューアルする製品の型式は、末尾に「H」を追加します。

また、本リニューアルに伴い、2023年12月末出荷にて下記製品を販売終了いたします。なお、RTS-3□-SKO 他は現モデルにて販売継続いたします。

これからも、お客様の立場にたった使いやすい製品の提供をめざして努力致します。今後とも新晃電機の製品をご愛用いただきますよう、宜しくお願い致します。

表1 生産終了 代替機種 互換表

生産終了		代替機種	
製品番号	型式	製品番号	型式
1541	RTS-3□-AO	1551	RTS-3□AOH
1542	RTS-3□-SO	1552	RTS-3□-SOH
1543	RTS-3□-S2O	1553	RTS-3□-S2OH
1544	RTS-3□-S3O	1554	RTS-3□-S3OH

□には、0,1,2のいずれかの数値が入ります。

以上

エレカット 型式SO/SOH 比較表

仕様の相違点	現行品（型式SO）	新製品（型式SOH）
エレカットの動作用電源	AC100/110V、またはAC200/220Vのいずれかを発注時に選択	AC100～220V フリー電圧入力仕様
操作用電磁接触器の励磁電流検出の範囲	AC8mA～3Aの範囲内で、3機種から選択	現行品と同じ
負荷電流の検出範囲	AC1.0AT～160AT／AC600V以下	現行品と同じ
接点溶着の検知時差	0.4秒／1秒 ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
電源投入時の操作スイッチONの検出条件	主電磁接触器の電源投入から、100ミリ秒以内の電流信号の有無	エレカットの動作電源起動から、200ミリ秒以内の電流信号の有無
電源投入時の操作スイッチONの検出対象	負荷センサーの電流信号のみ	負荷センサーの電流信号と、操作用電磁接触器の励磁電流信号の両方
電源投入時の操作スイッチONの検出 入／切	ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
接点の接触不良（負荷センサー異常）の検出	無し	有り（検知時差 2秒）
消費電流	2.4VA	3VA
外形寸法、取付穴ピッチ、取付ねじ穴（本体側）	125(W)x180(H)x46(D), 113x168, 4-φ4.4	現行品と同じ
取付環境	温度0～55℃ 湿度85%以下結露なきこと 制御盤内取り付けのこと	現行品と同じ

配線の相違点	現行品（型式SO）	新製品（型式SOH）
結線用端子ネジ	M3ねじ	M4ねじ
電源投入時操作スイッチONの検出 切（しない時）	押釦の電源切／入でリセットを行う時以外、エレカットの動作電源（端子1-2間）と、主電磁接触器（端子3-5間）の連動は不要	端子10-11間の配線なし、それ以外は現行品と同じ
電源投入時操作スイッチONの検出 入（する時）		エレカットの動作電源と主電磁接触器は、押釦の電源スイッチで同時に切／入させる必要がある

※ 現行品の「電源投入時操作スイッチONの検出機能」は、新製品では「自己診断機能」と名称が変わります。

※ エレカットに付属する負荷センサー（CTL-W、およびCTL）に変更はありません。現行品と同じ物です。

エレカット 型式S20/S20H 比較表

仕様の相違点	現行品 (型式S20)	新製品 (型式S20H)
エレカットの動作用電源	AC100/110V、またはAC200/220Vのいずれかを発注時に選択	AC100～220V フリー電圧入力仕様
操作用電磁接触器の励磁電流検出の範囲	AC8mA～3Aの範囲内で、3機種から選択	現行品と同じ
負荷電流の検出範囲	AC1.0AT～120AT／AC600V以下	現行品と同じ
接点溶着の検知時差	0.4秒／1秒 ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
電源投入時の操作スイッチONの検出条件	主電磁接触器の電源投入から、100ミリ秒以内の電流信号の有無	エレカットの動作電源起動から、200ミリ秒以内の電流信号の有無
電源投入時の操作スイッチONの検出対象	負荷センサーの電流信号のみ	負荷センサーの電流信号と、操作用電磁接触器の励磁電流信号の両方
電源投入時の操作スイッチONの検出 入／切	ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
接点の接触不良 (負荷センサー異常) の検出	無し	有り (検知時差 2秒)
消費電流	2.4VA	4VA
取付環境	温度0～55°C 湿度85%以下結露なきこと 制御盤内取り付けのこと	現行品と同じ

配線の相違点	現行品 (型式S20)	新製品 (型式S20H)
結線用端子ネジ	M3ねじ	M4ねじ
電源投入時操作スイッチONの検出 切 (しない時)	押釦の電源切／入でリセットを行う時以外、エレカットの動作電源 (端子1-2間) と、主電磁接触器 (端子3-5間) の連動は不要	現行品と同じ
電源投入時操作スイッチONの検出 入 (する時)		エレカットの動作電源と主電磁接触器は、押釦の電源スイッチで同時に切／入させる必要がある

※ 現行品の「電源投入時操作スイッチONの検出機能」は、新製品では「自己診断機能」と名称が変わります。

※ エレカットに付属する負荷センサー (CTL-W、およびCTL) に変更はありません。現行品と同じ物です。

エレカット 型式S30/S30H 比較表

仕様の相違点	現行品（型式S30）	新製品（型式S30H）
エレカットの動作用電源	AC100/110V、またはAC200/220Vのいずれかを発注時に選択	AC100～220V フリー電圧入力仕様
操作用電磁接触器の励磁電流検出の範囲	AC8mA～3Aの範囲内で、3機種から選択	現行品と同じ
負荷電流の検出範囲	AC1.0AT～160AT／AC600V以下	現行品と同じ
接点溶着の検知時差	0.4秒／1秒 ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
電源投入時の操作スイッチONの検出条件	主電磁接触器の電源投入から、100ミリ秒以内の電流信号の有無	エレカットの動作電源起動から、200ミリ秒以内の電流信号の有無
電源投入時の操作スイッチONの検出対象	負荷センサーの電流信号のみ	負荷センサーの電流信号と、操作用電磁接触器の励磁電流信号の両方
電源投入時の操作スイッチONの検出 入／切	ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
接点の接触不良（負荷センサー異常）の検出	無し	有り（検知時差 2秒）
消費電流	3.2VA	5VA
取付環境	温度0～55℃ 湿度85%以下結露なきこと 制御盤内取り付けのこと	現行品と同じ

配線の相違点	現行品（型式S30）	新製品（型式S30H）
結線用端子ネジ	M4ねじ	現行品と同じ
電源投入時操作スイッチONの検出 切（しない時）	押釦の電源切／入でリセットを行う時以外、エレカットの動作電源（端子1-2間）と、主電磁接触器（端子3-5間）の連動は不要	現行品と同じ
電源投入時操作スイッチONの検出 入（する時）		エレカットの動作電源と主電磁接触器は、押釦の電源スイッチで同時に切／入させる必要がある

※ 現行品の「電源投入時操作スイッチONの検出機能」は、新製品では「自己診断機能」と名称が変わります。

※ エレカットに付属する負荷センサー（CTL-W、およびCTL）に変更はありません。現行品と同じ物です。

エレカット 型式AO/AOH 比較表

仕様の相違点	現行品（型式AO）	新製品（型式AOH）
エレカットの動作用電源	AC100/110V、またはAC200/220Vのいずれかを発注時に選択	AC100～220V フリー電圧入力仕様
操作用電磁接触器の励磁電流検出の範囲	AC8mA～3Aの範囲内で、3機種から選択	現行品と同じ
負荷電流の検出範囲	AC1.0AT～120AT／AC600V以下	現行品と同じ
接点溶着の検知時差	0.4秒固定	0.4秒／1秒 ディップスイッチ切替式
電源投入時の操作スイッチONの検出条件	主電磁接触器の電源投入から、100ミリ秒以内の電流信号の有無	エレカットの動作電源起動から、200ミリ秒以内の電流信号の有無
電源投入時の操作スイッチONの検出対象	負荷センサーの電流信号のみ	負荷センサーの電流信号と、操作用電磁接触器の励磁電流信号の両方
電源投入時の操作スイッチONの検出 入／切	ディップスイッチ切替式	現行品と同じ
接点の接触不良（負荷センサー異常）の検出	無し	有り（検知時差 2秒）
消費電流	2.4VA	3VA
取付環境	温度0～55℃ 湿度85%以下結露なきこと 制御盤内取り付けのこと	現行品と同じ

配線の相違点	現行品（型式AO）	新製品（型式AOH）
結線用端子ネジ	M3ねじ	M4ねじ
電源投入時操作スイッチONの検出 切（しない時）	押釦の電源切／入でリセットを行う時以外、エレカットの動作電源（端子1-2間）と、主電磁接触器（端子3-5間）の連動は不要	現行品と同じ
電源投入時操作スイッチONの検出 入（する時）		エレカットの動作電源と主電磁接触器は、押釦の電源スイッチで同時に切／入させる必要がある

※ 現行品の「電源投入時操作スイッチONの検出機能」は、新製品では「自己診断機能」と名称が変わります。

※ エレカットに付属する負荷センサー（CTL-W、およびCTL）に変更はありません。現行品と同じ物です。